

その他事務に要する経費 ペビテント貸出し事業関連経費	5,505	0	0	0	5,505	屋外イベント時の貸出用として、ペビテント等を購入
のびゆくこどもプラン小金井推進事業に要する経費	4,825	0	0	0	4,825	のびゆくこどもプラン小金井における令和2年度以降の新計画策定に向けたニーズ調査等を実施
児童館維持管理に要する経費	24,077	14,020	0	0	10,057	老朽化対策として、緑児童館の空調設備、内装および建具改修工事を実施
学童保育所維持管理に要する経費	21,423	3,980	0	17,248	195	あかね学童保育所の定員拡充に向け、(仮称)あかね第4・第5学童保育所新設工事の設計を実施
学童保育所運営に要する経費	241,908	140,379	0	61,175	40,354	さわらび、みなみ学童保育所の2施設の運営業務を委託
両親学級に要する経費	1,189	0	0	0	1,189	たんばぼクラスの定員を拡大し、父親向けの健康教室を実施
健康相談及び健康講演会に要する経費	7,162	4,040	0	0	3,122	乳幼児健康相談の実施箇所を拡大し、相談しやすい環境を整備
成人歯科健康診査等に要する経費	18,134	5,425	0	0	12,709	市民の口腔衛生向上を図るために、成人歯科健康診査の対象年齢を拡大
各種がん検診に要する経費	68,611	1,645	0	0	66,966	大腸がん個別検診の日数を拡充し、胃がん・肺がん検診と同時実施を行い、集団検診の機会を設定
その他予防接種事務に要する経費	4,371	0	0	1,285	3,086	里帰り出産等で、市外で自己負担による子どもの予防接種を受けた場合の接種費用を助成

6 基本構想実現のために(計画の推進)

企画・調整に要する経費	25,571	0	0	16,967	8,604	第5次基本構想・前期基本計画策定に当たり、市民意向調査を実施するとともに、データブックの作成を実施
ふるさと納税に要する経費	5,508	0	0	0	5,508	寄附金の募集強化のため、お礼品を導入

# 令和元年度 上半期の財政状況

**【図C】市債の目的別内訳**  
市債現在高219億3,551万円  
( )内は、市債総額に対する比率

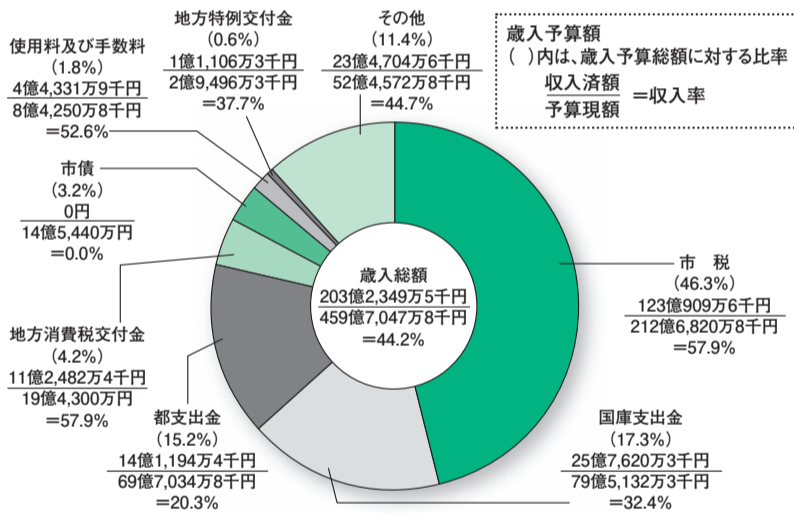
市民1人当たりの額  
180,348円  
人口121,629人  
(平成31年4月1日現在)

<b>臨時財政対策債</b> 64億7,475万5千円 (29.5%)	<b>都市計画事業</b> 73億8,069万5千円 (33.6%)
<b>文化センター等事業債</b> 20億7,706万1千円 (9.5%)	<b>下水道の建設</b> 12億1,483万7千円 (5.5%)
<b>小・中学校の建設</b> 8億86万4千円 (3.7%)	<b>その他</b> 39億8,729万8千円 (18.2%) 減税補てん債、一般土木事業、福祉施設の建設事業等

市の財政は、皆さんから納めていただいた税金や国・都からの補助金などで賄われています。これらがどの仕事に使われているかを、令和元年度上半期(4月1日～9月30日)における予算の執行状況を通してお知らせします。

☎財政課財政係(☎042-387-9802)

【図A】一般会計執行状況〈歳入〉



## 予算の執行状況

今年の9月30日現在における予算額は、一般会計と特別会計を合わせて総額689億5,856万5千円となっています。これは当初予算667億186万8千円に、補正予算額22億5,669万7千円を加えたものです。前年同期と比べ0.8%の減となりました。

### 一般会計

道路や学校、集会施設等の公共施設の建設や改修、少年自然の家(清里山荘)・総合体育館の運営や委託、社会福祉、消防、ごみ処理など、市が行う事業の大部分を賄う一般会計は、459億7,047万8千円で前年同期と比較すると、1.0%の減となっています。

主な財源である市税の収入率は57.9%で前年同期と比較すると0.5ポイントの増となっています。また、一般会計全体の収入率は、44.2%で前年同期と比較すると1.3ポイントの減となっています。

上半期の執行状況の内訳は、図Aおよび図Bのとおりです。

### 特別会計

各特別会計は、前年同期と比べ下水道事業は8.7%、介護保険は4.1%、後期高齢者医療は2.3%のそれぞれ増となり、国民健康保険は5.5%の減となっています。執行状況は左下表のとおりです。

### 市債

福祉施設の建設、都市計画道路整備などのまちづくり、小・中学校の改修、下水道事業には、多額の資金を必要としますが、この資金の一部を国や都・銀行などから長期にわたって借り受け、事業に充てています。このような市の長期借入金のことを、市債といいます。

市債の目的別内訳は図Cのとおりです。現在の市債の総額は、219億3,551万円で前年同期と比べ、8.8%の減となりました。

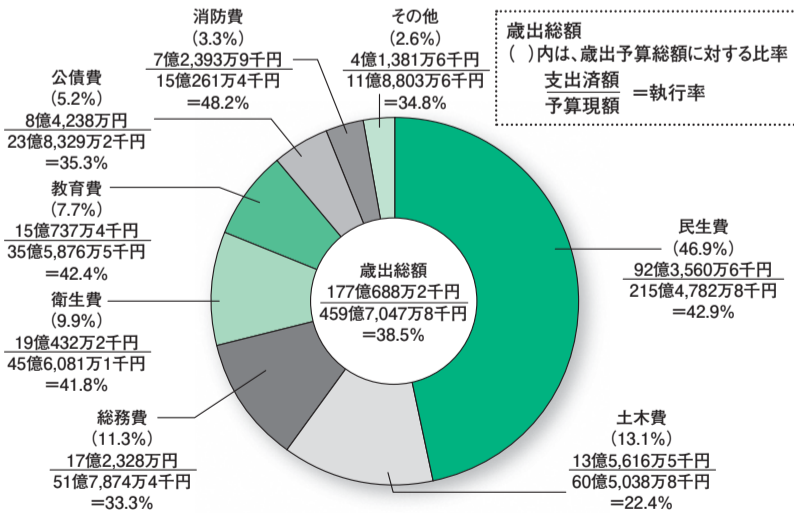
### 市有財産

市が保有し管理している財産には、市役所の庁舎をはじめ、学校や集会施設などの建物や土地、その他の物品、基金などがあります。(図D)市有財産の総額は、922億4,899万円で、前年同期と比較すると2.8%の増となっています。

【図D】市有財産の状況

<b>土地</b> 庁舎、学校などの敷地 348,327.82㎡	<b>建物</b> 庁舎、学校など 167,124.42㎡
<b>有価証券 その他権利</b> 株券など 5,418万4千円	<b>物品</b> 自動車など 17億2,590万1千円
<b>構築物</b> 学校のプールなど 5億4,105万9千円	<b>基金</b> 環境基金など 104億9,613万2千円

【図B】一般会計執行状況〈歳出〉



特別会計執行状況 (単位:千円)

区分	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
国民健康保険	10,137,739	4,333,481	42.7	3,700,285	36.5
下水道事業	1,585,231	693,699	43.8	423,528	26.7
介護保険	8,563,711	3,789,481	44.3	3,363,490	39.3
後期高齢者医療	2,701,406	1,170,219	43.3	846,156	31.3